

令和6年度 第2回倉吉市社会教育委員協議会について（概要）

- 1 日 時 令和7年3月25日（火）午後3時～午後5時
- 2 場 所 小鴨コミュニティセンター 会議室
- 3 出席者 委 員：岩垣会長、長岡副会長、小椋委員、眞田委員、山下委員、前田委員、
鷲見委員、笠見委員、明里委員、柘田委員（欠席：池田委員、岸田委員、野儀委員）
事務局：中田教育長、石賀事務局長、向井社会教育課長、根鈴博物館長、
田村図書館長、社会教育課：井谷課長補佐・多久和係長
関係課：田村地域づくり支援課長

4 協議事項

（1）アフターコロナにおける社会教育が抱える諸課題についての「話し合いの場」の持ち方について

[主な意見等]

- ・社会教育の関係者だけでなく学校教育も、福祉やまちづくりをしておられる方も、人権啓発に関わる行政も一緒に話し合いをして、これからの倉吉をどうするかをみんなで共通認識、共有をする機会が必要。
- ・闇バイトの問題は、子どもたちをめぐる環境へのアプローチとして非常に有意義な課題であり、議論を深める機会をつくれればよいのではないかと。同時に、子どもたちのコミュニケーション能力をいかに高めるか議論をすることも重要。
- ・まず社会教育委員が社会教育について話し合う場、さらにいろんな立場の方が集って1つのテーマについてしっかり話し合う場を設けるといような仕掛けづくりも必要ではないかと。
- ・大人部門と子ども部門と2つに分けて議論したほうが絞り込めるのではないかと。全部まとめては難しい。

⇒いただいた御意見を参考にして、会長、副会長とも協議をさせていただく。

（2）令和6年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実績及び評価について

[主な意見等]

- ・評価には関係ないが、市営温水プールを水泳の授業に使われたという報告があったが、どのくらい授業で使われたか。

⇒試験的に上灘小学校の児童が市営温水プールを使用した。7年度は、小学校1校と中学校も時期をずらして秋に使用することを計画をしているところ。

（3）令和7年度倉吉市教育方針と重点施策について

[主な意見等]

- ・もうすぐ開館する県立美術館との関わりは、今年はどういうふうになるのか。

⇒小学校4年生が県立美術館に行くよう計画している。また、県立美術館の展示に合わせて、倉吉博物館が所蔵しているものを同時に展示を行うなど繋がりを持たせ、連携すべきところはしっかり行っていきたい。

- ・ふるさとキャリア教育、子どもたちもわかるように何か1つのキャッチフレーズみたいなものでパッ

とわかるようなことを考えてはどうか。

- ・ふるさとキャリア教育の中で、地域の人と子どもたちがいろんな出会いをする機会があり、子どもたちにとって家庭や学校だけではなく、地域の中で自分を見てくれる人とのナナメの関係性を育む場として価値あるもの。柔軟性をもって活用してほしい。
- ・ふるさとキャリア教育の中に、看護大、短大との連携も入れてほしい。
- ・教育振興基金を作って学校運営に協力しているが、社会科見学に係るバス代の負担が大きい。できれば市のほうで財政的な保障してもらいたい。

(4) 第4期倉吉市教育振興基本計画の策定について

[主な意見等]

- ・特になし

⇒現状と課題について確認いただき、お気づきの点など御意見をお寄せいただくようお願いしたい。

5 報告事項

(1) 社会教育士の取得について

[主な意見等]

- ・特になし

6 意見交換

(1) 話題提供

- ・小鴨地区高校生地域活動グループ「しし GAMO7」による活動発表

(2) グループトーク

- ・参加者：小鴨地区の高校生（しし GAMO7）及び小鴨地区中学生合計 13 人と社会教育委員
- ・テーマ：地域における若者の活躍について

「地域の様々な活動の中で、楽しい！うれしい！参加したい！と思うときはどんなとき？」